社說

政界動搖の由來

今の内閣は昨年の九月に松方大隈を中心として組織されたるものにして爾來僅に一年餘を經過したるのみなるに早くも内輪に紛議を生じて其中心に異變を見るに至りしは遺憾と云ふ可し蓋し如何なる人物にても今日朝に立て明日直に功を奏するゝ能はず少なくとも二三年の歲月を經て始めて其伎倆如何を見る可きものなれば内閣更迭の頻繁なるは本來我輩の喜ぶ所に非ず況んや今の内閣が新人物を登用して官界の面目を一新せんゝとを企てたるは近頃の事にして任官の命を拜してより漸く一二箇月に過ぎざるもの多きに於てをや此際その方針を變じて新分子を逐ふは恰も煤掃を企てながら半ばにして之を中止すると同樣にして家具散亂、當分は其始末に困却するとならん勿論内閣全體は之が爲めに倒るゝゝとなく暫くは命脈を保つゝとならんと雖も鳥合の兵を集めて外より援助せしむるも到底永續せざるは前例に徴して明なり抑も今の政治界には二箇の要素あり即ち藩閥と政黨とにして各々大勢力たるに相違なしと雖も又れの〳〵獨立して志を行ふゝゝ能はず有方なる政府は二者の和合より生るゝものなれば其提携は實際の必要なり左れば之を双方相近づきて事を共にするに至りしゝとなれども又未だ双方共に其必要を感ずるゝゝ深からざるもの〳〵如し例へば今回の事件に付ても双方共に事を處する甚だ輕率にして局外者より觀れば遺憾の點少なからず假令ひ進歩黨の要求は公然承諾す可らざるものなるにもせよ當局者に於て眞實調和を欲すれば折合の道なきに非ず五箇條の要求靈く之を容れずとも曩ての宣言を若々實行したらんには進歩黨も強ひて提携を絶ざるゝゝとならんに事此に出でずして進歩黨は只要求を提出し政府は其要求を公にしたるが不可なりとて之を拒絶して其まゝ物分れとは如何にも子供らしき仕打と云はざる可らず特に此事件の始まるや當局者が政府の立脚點に付て他の元老と相議したりと云ふが如き即ち民論以外の勢力に重きを置かんとするの惜を見る可し斯の如き有樣にては政界の紛議止む時わる可らず元老も政黨員も互に自家の力量を察して和合の必要を一層深く感ずるか或は政界の元勳力一に歸して内閣の進退一に民論の向背に依て決するに至るまでは今後とても屢々今度の如き時ならぬ變動を見るゝゝとならん變遷の時代に免れざる現象なれども其度毎に互に苦々しき經驗を嘗め次第に本式の境遇に近づくゝゝとならん始めは所謂超然主義なりしものも經驗に依て其實際に行ふ可らざるを察し内々味方の政黨を作らんとしたれども政黨は一夜にして作る可らず隨て作れば隨て崩れ到底物の用に立つ可らざるを悟り今度は思ひ切て公然既成の政黨と提携したるに未だ遠くならずして破裂を見るに至りしは遺憾なれども大勢の趣く所如何ともす可らず次第に歩を進めて遂に歸す可き所に歸せんのみ

電報

○四日市天長節　四日市十一月三日午後特發

第三期喪中に付き天長節の祝賀式を廢し市民は頗る靜寂なり

○靜岡の天長節　靜岡十一月三日午後特發

本日快晴、各戸國旗を掲げ祝意を表す、各官衙學校等は御喪中に付遙拜式を行はず

○濱田の天長節　濱田十一月三日午後特發

御喪中に付き祝賀式を擧げず爲に例年に比し市中は寂寥を極む

○札幌の天長節　札幌十一月三日午後特發

本日晴天、市内は一般に靜粛なり

○慶應義塾同窓會　足利十一月三日午後特發

本夕當地に於て慶應義塾出身者の同窓會を開き來會者四十餘名にて頗る盛會なり東京より岡本貞烈、波多野承五郎、石井甲子五郎、山名次郎の諸氏來會す

○靜岡縣會開會　靜岡十一月三日午後特發

本縣の臨時縣會は去月三十日に開會し一日を以て閉會し二日より通常會を開會せり

福澤百話

初版以來非常の好況を以て賣切れ

第五版　本日發行

上製用紙柏來上等紙背皮金字入美本　紙數凡四百頁

上製並製と福澤先生自筆題詩（竪一尺三寸横六寸）寫眞石版入

本書は福澤先生最近の著述なり　正價　上製一圓（郵税十錢）

家處世の心得より至るまで說き去り說き來りて餘蘊なし　並製卅五錢（郵税六錢）

文章は平易明快何人にも分り易く一本を座右に備へ

日常之を繙かば大に得る所あるべし

東京京橋區南鍋町二丁目十二番地（電話番號用本局一四九番）

大阪北區堂島濱通一丁目四十番屋敷（電話番號用本局三三七番）

發行所　時事新報社

大賣捌　時事新報社出張所

●全國各地時事新報賣捌所及各書店にあり

○兵士歸團　名古屋十一月四日午後特發

第三師團の機動演習は終結せしに付兵士明日歸團する

○自由黨山形支部總會　山形十一月三日午後特發

自由黨山形支部にては秋季總會を開き會計報告を爲し且つ決議案四項を可決し山下千代雄氏を支部長に推選し規約を修正して散會せり

○青年倶樂部發會式　山形十一月三日午後特發

本日當地に於て山形縣青年自由倶樂部の發會式を擧行し決議案、規則等を議了せり

○板垣伯の一行　山形十一月三日午後特發

板垣伯の一行は明日當地の演說會を終り米澤地方へ向け出發の筈なり

○緊急の議案

去る二日の閣議に於て各省より議會に提出すべき法律案の中にて緊急のものと不急のものとを判別したるよしなるが緊急の分には大藏省より提出すべき酒造稅法改正案、地租條例改正案、國債通用期限改正案、内務省より提出すべき高等警察、市制、府縣制改正案、郡制改正案、市制町村制改正案、司法省より提出すべき民法親族篇、相續篇、商法總則、法例、民法施行條例、商法施行條例、登記法改正案、遞信省より提出すべき海運奬勵法改正案等を數へられ居るとなり

○豫算及び增稅案の決定

豫算は去月十四日の閣議に於て略ぼ決定し增稅案の中にて地租案は既往五箇年の平均米價七圓何十錢を地價修正の標準石代となし地租率を百分二とするか百分一半とするかは大藏省に於て實地計算の上、定むるゝゝとに決したるゝゝとなれば現に大藏省に於て編成中の豫算案と法制局に於て審議中の增稅案は何れも最早、形式だけの閣議を經て確定するの運に達し居るよし

○法典調査

司法省の法典調査會にては頻りに調査の完結を急ぎ居るよしなるが第十一議會の開くるまでに各法典とも調査を了り別項記載の如く議院へ提出するに至るべしとなり

○法典調査會と關西汽船業者　關西汽船同盟

船主の委員等は法典調査會の意見なる内地航海に用ふる船舶に關する法規は今後大に航業の消長に關するものあるを以て此程協議會を開きたる結果兎に角其意見を當局者に向て縷陳し併せて法典調査委員の意見をも聞取たる上修正の請願を爲さん爲め大阪商船會社の法律顧問柳崎欽吾白小司芳之助二氏を總代として上京せしむるとに決し大臣より鎮守府司令長官常備艦隊司令長官其他の將官に向け來る八日までに出京すべき旨通達したり議事は十日許りもかゝるべしとの事なり

○海軍將官會議

海軍將官會議は愈々來る九日より海軍省に於て開會のみとに決し大臣より鎮守府司令長官常備艦隊司令長官其他の將官に向け來る八日までに出京すべき旨通達したり議事は十日許りもかゝるべしとの事なり

○西鄕海軍大將　十月二日の木紙ル電報には「加奈陀マニトバ州の所とのなるを恐れ自國に如く此パッフィンランドに接せる最大の加奈陀等と同色を表して又た疑世紀許の間人省のにて其實未だ あるにはあらざ陀を分てるハドより加奈陀マニ る重要の通路に輸車業を迫害す又之と競爭する かと云ふに同國 て又如何ともす 英國に蹶動さる 慢なればとにや 方の嶋又は半嶋 に至れり是に於 ざるを察し急ぎ 灣に英國旗を掲 は之が爲めにや 入したるとの噂 リーンランドを由々敷大事にし のみならず又太 ○米國内閣 て小異動ある 二月一日を以て 氏其後を襲ふ のにして當初マ マッケンナ氏は 寧ろ他の職を望 すみとの能はざ 辭職すべけれ 氏を檢事總長 氏此程遂に辭 履行さるべく 長の後任は何 務大官デ 氏 マン氏も亦辭 任せらるゝやの 轉任し海軍卿 しとの說もあ て國務卿の更 變更する所あ

午後五時過き新 十月二日の木紙 ル電報には「加 所となるを恐れ を正式に自國に 如く此パッフィ 嶺に接せる最大 ーランドと相 加奈陀等と同色 を表して又た疑 世紀許の間人省 のにて其實未だ あるにはあらざ 陀を分てるハド より加奈陀マニ る重要の通路に 輸車業を迫害す 又之と競爭する かと云ふに同國 て又如何ともす 英國に蹶動さる 慢なればとにや 方の嶋又は半嶋 に至れり是に於 ざるを察し急ぎ 灣に英國旗を掲 は之が爲めにや 入したるとの噂 リーンランドを 由々敷大事にし のみならず又太 ○米國内閣 て小異動ある 二月一日を以て 氏其後を襲ふ のにして當初マ マッケンナ氏は 寧ろ他の職を望 すみとの能はざ 辭職すべけれ 氏を檢事總長 氏此程遂に辭 履行さるべく 長の後任は何 務大官デ 氏 マン氏も亦辭 任せらるゝやの 轉任し海軍卿 しとの說もあ て國務卿の更 變更する所あ